



今、「アフリカ」が熱い！ アフリカ・キャラバン in Sapporo開催報告—札幌から—

11月10日(土)と11日(日)、JICA札幌と、隣接するリフレ札幌はアフリカの熱気に包まれました。来場者はアフリカについて学んだり、アフリカ人研修員や留学生と交流したり、アフリカ料理を味わったり、アフリカダンスを踊ったり。思い思いにつかの間の「アフリカ」を体験しました。

この「アフリカ・キャラバン」は、来年横浜で開催されるアフリカ開発会議IV(TICAD IV)を前に、「がんばるアフリカ」を応援するキャンペーンの一環として全国5都市で開催されたイベントです。札幌では基調講演に元ザンビア大使で現在北大教授の石 弘之氏をお迎えしたほか、有識者によるパネルディスカッション、写真展、開発教育ワークショップ、アフリカで活動するNGOを中心にしたブース出展、アフリカンパーカッションのライブ演奏等々、さまざまな企画で盛り上げました。

ニュースなどで耳にすることはあっても、日常ではまだまだ遠い存在のアフリカ。そんな人もきつと、一度体験したら忘れられませぬ。2008年にかけて、JICAのイベントをお見逃しなく！
(JICA札幌 市民参加協力調整員 杉山)



英語で話しかけてみよう…ちよっと緊張するけど、ほら、ちゃんと通じたよ！



カンボジアの青年は、日本人よりも餅つきが上手！ —帯広から—

JICA帯広では、十勝インターナショナル協会との委託事業により、カンボジアから15名の青年男女を10月22日から11月8日まで青年研修プログラムとして受け入れました。十勝管内の農協や行政・民間組織を訪問しながら「農村開発」に関する研修を行いつつも、道東青年海外協力隊OB会との交流による、日本文化にふれる場も設けられ、楽しいひとときとなりました。特に、餅つきでは、日本人以上に腰の入った杵使いを披露しており、参加した日本人から拍手喝采でした。

(JICA帯広 木村)

JICA帯広(帯広市西20条南6丁目1-2) Tel.0155-35-1210 FAX.0155-35-1250



カンボジア青年 餅つきに挑戦！



『中東カフェin函館』『地球まつり』開催！ —函館から—

10月13日(土)～14日(日)の両日、函館市の(財)北海道国際交流センターにおいて、『中東カフェin函館』『地球まつり』両イベントを開催しました。

『中東カフェin函館』では、酒井啓子氏(東京外国語大学教授)をはじめとする中東地域の専門家が『エルサレム～宗教と民族が織り成す聖地～』と題し、エルサレムの現状を宗教に焦点をあてて講話され、会場は80名以上の公聴者で埋め尽くされました。中東地域のお茶を飲みつつリラックスした雰囲気の中、少し掘り下げた質問も飛び出すなど中東への熱気に包まれました。

翌日の『地球まつり』は毎年、函館近郊で活動されている地域の各交流・国際交流・国際協力団体が一堂に会し、各団体の紹介を大々的に行うもの。今年で3回目となります。55団体の参加があり、来客人数は延べ800人を超えました。

各ブースでは団体の活動紹介パネルや民芸品の展示、物品や料理の販売、民族舞踊や音楽コンサートなどが催されました。JICAブースでは青年海外協力隊活動パネル展示や民族衣装の試着会が行われたほか、東京から駆けつけた元マラウイ隊員(村落開発普及員)の山田耕平氏による講演会「マラウイでのエイズ撲滅活動」とエイズ撲滅キャンペーンソング「ディマクコンダ」が披露され、来客者の関心を集めました。
(国際協力推進員(函館) 濃邊)

JICA函館デスク(財)北海道国際交流センター内) Tel.0138-22-0770 FAX.0138-22-0660



ディマクコンダを熱唱する山田耕平さん(左)。函館のアフリカンパーカッショングループ「福来る」との豪華共演で、会場は大いに盛り上がりました！



「世界を知る集い」に3つのJICA関連ブースが登場！ —旭川から—

10月13日(土)、旭川市民文化会館で行われた「世界を知る集い」に3つのJICA関連ブースが登場しました。

このイベントは上川管内国際理解教育研究協議会が主催したもので、世界各国での長期滞在経験者などが自己の体験や滞在国等の文化を語り、広く一般市民に世界を知っていただくものでした。今回は青年海外協力隊OGがマーシャル諸島・ソロモン諸島ブースで現地の言葉になっている日本語を紹介したほか、ケチャップとタバスコを入れるマーシャル・ソロモン式インスタントラーメンの紹介、JICA函館推進員によるルーマニア紹介とイースターエッグ作成、旭川推進員(私です)による協力隊紹介ブースが集い、さらにオランダ、スペイン、アイヌ語のブースが並びました。

会場には様々な国・民族の文化が溢れ、参加者は笑顔で各ブースを回り出展者の話や文化体験に魅了されていました。

(国際協力推進員(旭川) 鳥居)

JICA旭川デスク(旭川市役所第3庁舎国際交流課内) Tel.0166-27-1550 FAX.0166-23-4924



「現地語になった日本語」を紹介している協力隊OG



太古の昔の兄弟が再会?!～草の根技術協力「寒冷地の 土木開発」研修員受入～北見から—

10月13日～11月3日、北見国際技術協力推進会議がキルギスからの研修員2名を受け入れました。研修員は講義・視察の間熱心に質問し、そこで得たものを自国で応用すると張り切っていました。ところでキルギスの伝説によると昔日本人とキルギス人は一つの民族だったそうです。講師陣と研修員も兄弟のように仲良くなりました。この研修は3年間続き、来年はまた違う研修員を受け入れることとなりますが、今回の研修員2名と北見市の友情がずっと続きますように！

(国際協力推進員(北見) 高橋)

JICA北見デスク(北見市役所市民活動課国際交流係内) Tel.0157-25-1105 FAX.0157-25-1016



寒冷地の土木開発研修の様子